

# 私の食物誌

池田弥三郎



わたし しょくもつし  
私の 食物誌



定価 400円

新潮文庫 草190=1

昭和五十五年八月二十五日  
昭和五十五年十月十日

二発  
刷行

著者

池<sup>いけ</sup>田<sup>だ</sup>弥<sup>や</sup>三<sup>さん</sup>郎<sup>ろう</sup>

発行者

佐藤亮一

発行所

株式会社 新潮社  
東京都新宿区矢来町一七六一  
郵便番号 166-5111  
電話番号 (03)266-5111  
編集部 (03)266-5421  
振替 東京四一八〇八番

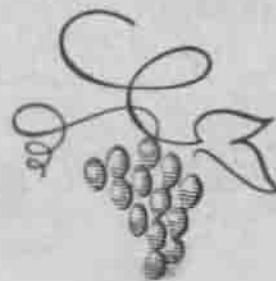
乱丁・落丁本は、ご面倒ですが小社通信係宛て送付  
ください。送料小社負担にてお取替えいたします。

© 印刷・二光印刷株式会社 製本・株式会社植木製本所  
© Yasaburō Ikeda 1980 Printed in Japan

新潮文庫

私の食物誌

池田弥三郎著



---

新潮社版

2648



目

次

一月

一日	蓬萊	一〇
二日	柳ばし	一一
三日	春の七草	一二
四日	みかん	一三
五日	新年宴会	一四
六日	切山椒	一五
七日	ななくさ	一六
八日	とおとの鳥	一七
九日	食事の行儀	一八
一〇日	はしの持ち方	一九
一一日	鏡ひらき	二〇
一二日	みかんのカンヅメ	二一
一三日	頼朝の酒	二二
一四日	どんど焼き	二三
一五日	旗日のおくもつ	二四
一六日	はし	二五

一七日	かずのこ	二六
一八日	ワンドフル	二七
一九日	はんごうめし	二八
二〇日	デコレーション・ケーキ	二九
二一日	高野豆腐	三〇
二二日	さつまいも	三一
二三日	にこごり	三二
二四日	まるたか	三三
二五日	切山椒(続)	三四
二六日	松崎と松風軒	三四
二七日	ミボラ	三四
二八日	おじや	三四
二九日	お茶づけ	三四
三〇日	頼朝の酒(再び)	三四
三一日	お茶とたくあん	三四
余話	手の話 I・II・III	三四

二月

二日	つけ菜	五十五
三日	かくや	五十六
四日	豆まき	五十七
五日	信州菜	五十八
六日	のり	五十九
七日	のり加工	六十
八日	梅が香	六一
九日	こわれもの	六二
一〇日	ふぐ	六三
一一日	さしみ未遂	六四
一二日	うさぎ狩り	六五
一三日	うさぎの吸い物	六六
一四日	ねぎま	六七
一五日	ねぎまの女	六八
一六日	ねぎまの殿様	六九

一七日	まぐろ	セ二
一八日	替え名	セ三
一九日	くださいな	セ四
二〇日	など	セ五
二一日	お勘定	セ六
二二日	家庭医学	セ七
二三日	うまいもの哲学	セ八
二四日	あかどうふ	セ九
二五日	大量給食	セ一〇
二六日	牛屋の屋号	セ一一
二七日	ぎゅう	セ一二
二八日	女中さんの哲学	セ一二
二九日	やみ汁会	セ一二
余 話	足の話	セ一二

三月

一日	洋風の日本化	六
二日	ひしもち	六
三日	ひな祭り	九
四日	美味の秘訣	九
五日	けいちつ	九
六日	むき身	九
七日	はしら	九
八日	あげだま	九
九日	シロウオ	九
一〇日	しらうお	九
一一日	白魚ひとちょぼ	九
一二日	春の水	九
一三日	白魚のてんぶら	九
一四日	しろいお	九
一五日	岡山よいとこ	九
一六日	ままかり	九

一七日	このこ	一〇
一八日	盆洗新説	一〇
一九日	骨ばなれ	一〇
二〇日	ふぐ供養	一〇
二一日	雁風呂	一〇
二二日	菜の花	一〇
二三日	おはぎ	一〇
二四日	いしる	一〇
二五日	ぶぶあられ	一〇
二六日	ほうれんそう	一〇
二七日	からしな	一〇
二八日	のびる	一〇
二九日	ひだら	一〇
三〇日	食堂車	一七
三一日	お弁当	一七
余話	目の話 I・II・III	一七

四月

一日	朝のご飯	一七日	家康の死
二日	「茶目子」の朝ご飯	一八日	てんぶらいろいろ
三日	たべすぎらい	一九日	おとぼけ京山
四日	柴崎納豆	二〇日	異名同物
五日	江戸名物	二一日	くこの垣
六日	目玉焼き	二二日	くこ栽培
七日	なまたまご	二三日	鉄火みそ
八日	甘茶	二四日	あがり
九日	生卵の訂正	二五日	たらこ
一〇日	サニー・サイド・アップ	二六日	茶のかおり
一一日	うつり香	二七日	橘のかおり
一二日	柳の花	二八日	くこ泥棒
一三日	啄木忌	二九日	皇居のスープ
一四日	潮干狩り	三〇日	餓鬼阿弥追空
一五日	スタッフ・パーティー		
一六日	田楽		

一七日	家康の死	四〇	
一八日	てんぶらいろいろ	四一	
一九日	おとぼけ京山	四二	
二〇日	異名同物	四三	
二一日	くこの垣	四四	
二二日	くこ栽培	四五	
二三日	鉄火みそ	四五	
二四日	あがり	四六	
二五日	たらこ	四七	
二六日	茶のかおり	四八	
二七日	橘のかおり	四九	
二八日	くこ泥棒	五〇	
二九日	皇居のスープ	五一	
三〇日	餓鬼阿弥追空	五二	

五  
月

一日	アユのうわさ	一七
二日	ひまの油	一八
三日	お茶好き	一九
四日	女の家	二〇
五日	茶つみ歌	二一
六日	赤貝をにくむ	二二
七日	万太郎食物誌	二三
八日	ライスカレーとハンケチ	二四
九日	鮎とあゆ	二五
一〇日	ぶぶ	二六
一一日	出花・あがり花	二七
一二日	おちやっぴい	二八
一三日	初がつお	二九
一四日	かつおの歴史	三〇
一五日	鎌倉の海	三一
一六日	駅売り	余

一七日	そら豆	一七
一八日	ぶどう餅	一八
一九日	西洋料理	一九
二〇日	パピヨン	二〇
二一日	コロッケ	二一
二二日	パピヨット	二二
二三日	ご飯をのこす	二三
二四日	菊五郎のエビフライ	二四
二五日	いんごうや	二五
二六日	待たせる	二六
二七日	商人のうそ	二七
二八日	食器の消毒	二八
二九日	サラ洗い	二九
三〇日	キャバレー	三〇
三一日	因業屋	三一
余	鼻の話 I・II・III	余

六月

一日	どぜう	一七日	夏の酒
二日	“どぜう”消滅	一八日	幕の内
三日	“どじょう”的仕かけ	一九日	どんどん焼き
四日	むし歯	二〇日	お好み焼き
五日	しょうゆ	二一日	出世食物
六日	てんした	二二日	みつ豆
七日	カルメラ焼き	二三日	淑女の指
八日	カルメラ製造	二四日	お菓子の名
九日	梅の実	二五日	牛乳
一〇日	梅ぼし	二六日	半助
一一日	梅酒	二七日	せんべい
一二日	氷砂糖	二八日	梅の実の歌
一三日	でんきあめ	二九日	みつ豆(再び)
一四日	立ちぐい	三〇日	水無月の祓え
一五日	立ちぐいの戒め		
一六日	あわもり		

一七日	夏の酒	102
一八日	幕の内	102
一九日	どんどん焼き	110
二〇日	お好み焼き	111
二一日	出世食物	111
二二日	みつ豆	113
二三日	淑女の指	114
二四日	お菓子の名	115
二五日	牛乳	116
二六日	半助	117
二七日	せんべい	118
二八日	梅の実の歌	119
二九日	みつ豆(再び)	110
三〇日	水無月の祓え	111

七

月

一日	鱈	一三〇
二日	久助	一三〇
三日	好物一品	一三〇
四日	むぎ湯	一三〇
五日	しらたま	一三〇
六日	ひやしあまざけ	一三〇
七日	あまざけ	一三〇
八日	アイスクリーム	一三〇
九日	氷のついたち	一三〇
一〇日	四万六千日	一三〇
一一日	すい	一三〇
一二日	ブッカキ	一三〇
一三日	カルメイラ	一三〇
一四日	カステイラ	一三〇
一五日	軍隊のめし	一三〇
一六日	おつかいもの	一三〇

一七日	お中元	一四〇
一八日	懐中じるこ	一四〇
一九日	あずきアイス	一四〇
二〇日	川開き	一四〇
二一日	アイスクリン	一四〇
二二日	平野水	一四〇
二三日	ブレンソーダ	一四〇
二四日	お味は	一四〇
二五日	酔いざめの牛乳	一四〇
二六日	新橋の「園」	一四〇
二七日	土用の丑の日	一四〇
二八日	うなぎ	一四〇
二九日	シュークリーム	一四〇
三〇日	牛乳ぎらい	一四〇
三一日	トマト	一四〇
余話	口の話 I • II • III	一四〇

八月

一日	氷のくろ焼き	[三〇]
二日	ないものづくし	[三一]
三日	西瓜	[三二]
四日	氷西瓜	[三三]
五日	レストランの水	[三四]
六日	水無しあめ	[三四]
七日	なすの塩もみ	[五六]
八日	わが命日	[五六]
九日	いためる	[五六]
一〇日	かけぜん	[五六]
一一日	えびすぜん	[五六]
一二日	宮古島進駐	[五六]
一三日	わんこそば	[五六]
一四日	強制大食	[五六]
一五日	赤いそてつ	[五六]
一六日	バナナ	[五六]

一七日	はしを折る	[七七]
一八日	はしが持てる	[七七]
一九日	おむすび	[七八]
二〇日	鉄火巻き	[七八]
二一日	てつか	[七八]
二二日	十二か月	[七八]
二三日	天候と果実	[七八]
二四日	バナナはブタに	[七八]
二五日	三等米	[七八]
二六日	めしのにおい	[七八]
二七日	稻の改良	[七八]
二八日	お米好き	[七八]
二九日	一日二食制	[七八]
三〇日	安あがり	[七八]
三一日	ホテルの紙	[八〇]
余話	歯の話 I・II・III	[八〇]

九

月

一日	主婦の処置	二六
二日	玄米パン	二七
三日	迢空忌	二八
四日	そばのしるこ	二九
五日	おそば	三〇
六日	そばやの風鈴	三一
七日	室町の砂場	三二
八日	蓮玉庵	三三
九日	主食論	三四
一〇日	納豆じる	三五
一一日	ひきわり納豆	三六
一二日	がっこ	三七
一三日	越前米	三八
一四日	ことしのあゆ	三九
一五日	みそ衰退	三一〇
一六日	ひしほ	三一

一七日  
一八日四種器  
砂糖と塩一九日  
二〇日すだち  
月見豆二一日  
二二日里芋  
しんこ細工二三日  
二四日やながわ  
はぜ釣り二五日  
二六日すし普及  
すし通二七日  
二八日とろ  
にぎりずし二九日  
三〇日九月尽(上)  
九月尽(下)

十一月

一日	冬仕度	三六
二日	焼き芋屋	三七
三日	石焼き芋	三八
四日	オン・ザ・ロック	三九
五日	もつたいない話	三一〇
六日	盛り塩	三一
七日	手塩にかける	三二
八日	から松茸	三四
九日	リコーゴウ	三五
一〇日	学生通訳	三六
一一日	秋とコーヒー	三七
一二日	ザクスカ	三八
一三日	ボルシチ	三九
一四日	シャシュリック	三一〇
一五日	あたため酒	三一
一六日	ニコラシカ	三二

一七日	かきあげ違ひ	三四
一八日	栗名月	三四五
一九日	ペッタラ市	三四六
二〇日	浅漬	三四七
二一日	みょうりがわるい	三四八
二二日	ホテルの朝食	三四九
二三日	朝のビフテキ	三五〇
二四日	ハンバーグ	三五一
二五日	カツレツ	三五二
二六日	のっかり	三五三
二七日	大カツ	三四
二八日	U・S・キッチン	三四五
二九日	ポクチャブ	三四六
三〇日	伊原ふう。パークソティー	三四七
三一日	おいしい	三四八
余話	舌の話 I・II・III	三四九

十一月

一日	かき食う客	三六四
二日	なまがき	三五五
三日	あすか鍋	三六六
四日	ソップ	三七七
五日	お茶の子	三八八
六日	オートミール	三九九
七日	湯どうふ	三一〇
八日	にしき玉子	三一一
九日	キャビヤ	三一二
一〇日	からすみ	三一三
一一日	三つの名	三一四
一二日	社用の客	三一五
一三日	すなぎも	三一六
一四日	掘る・ひく・刈る	三一七
一五日	松たけがり	三一八
一六日	ポワブル	三一九

一七日

紅茶

三六〇

一八日

紅茶とレモン

三六一

一九日

喫茶店

三六二

二〇日

茶とお茶

三六三

二一日

門

三六四

二二日

特殊喫茶

三六五

二三日

純喫茶

三六六

二四日

ミルクホール

三六七

二五日

ホットドッグ

三六八

二六日

ごまのにおい

三六九

二七日

たか

三七〇

二八日

須崎の伊勢エビ

三七一

二九日

エビの味

三七二

三〇日

冬讃美

三七三

十二月

一日	ペーチカ	二九
二日	あいがも	三七
三日	狩り	三六
四日	熊の胃	三九
五日	消化薬	四〇
六日	昨夜の食事	四一
七日	食事の話柄	四二
八日	ことはじめ	四三
九日	ことおさめ	四四
一〇日	餅つき	四五
一一日	ひりゅうず	四六
一二日	ゆずしん	四七
一三日	三竹のあたり	四八
一四日	かずのこ出現	四九
一五日	チシャなます	五〇
一六日	本家争い	五一

あとがき

一七日	かも	四二
一八日	みかんだま	四三
一九日	ちやだま・かわりだま	四四
二〇日	きんかとう	四五
二一日	忘年会	四六
二二日	弥助	四七
二三日	子をつれて	四八
二四日	跡かくしの雪	四九
二五日	クリスマス	五〇
二六日	生ビール	五一
二七日	オムレツ	五二
二八日	ステープライス	五三
二九日	しゃけどん	五四
三〇日	個人貧乏	五四
三一日	わたしは食通ではない	五六
余話	腹の話 I・II・III	五六